

# 煌めく女性リーダー塾

## Report #1

### 第12期 令和6年度

★先輩女性トーク ★知事とのトーク ★カリキュラム

#### 質疑応答

**Q** 管理職を目指したきっかけはなんですか？

**A** 目指す・目指さないを考えたことはなく、できることをやり続けていたら、一緒に働くメンバーができて、チームをまとめるようになっていました。きっと、日々の仕事の積み重ねのおかげで、次第に意識が変わっていったのだと思います。(篠原)

**Q** 部下のマネジメントと自分の業務をどう両立していますか？

**A** 部下のマネジメントを行うときは日時を決めるように、自分の業務を行うときはマネジメントの予定を入れないようにして、どちらにも集中して取り組める環境をつくっています。(辻本)

**Q** ベクトルが違う相手やモチベーションが低い相手にどう対応していますか？

**A** 相手がどんな想いを抱いているのかを理解するために、1on1ミーティングなど話を聞かせてもらう機会を設けていました。そこで、何らかの悩みを抱えていることが分かったら、その人と業務上のパートナーとなるメンバーにもサポートをお願いしたりしていました。(佐藤)

**Q** オン・オフを切り替えるためどのような工夫をしていますか？

**A** 「終わらせたい!でも終わらない…」というときは、妥協できるところまでやってあきらめるようにしています。あとは、業務の属人化をなくし、依頼・分担できる体制を整えるのも一つの方法だと思います。(辻本)

**Q** 仕事と家庭の両立はどうしていますか？

**A** 残業をしなければいけないときは家族にお願いして、定時で帰れるときは自分がやっているとしようしていました。あれもこれも一人で抱えようとするとつぶれてしまうので、頼れるところは頼って協力を仰ぐのがよいのではないのでしょうか。(篠原)

ダイの真価に深く関わります。例えば、部下が分かっていて自分が分かっていないことがあった場合を考えてみましょう。素直に質問して理解すれば、より総合的な判断・決断がしやすくなりますし、リーダーとしての成長も促されます。ぜひ心にとめていただき、当塾を楽しみながら、個々の能力が活きるリーダーを目指していきましょう。県庁も働きがいを得られる社会をつくることでみなさんをサポートしていきます。



富山県副知事

佐藤一絵氏

リーダーにとって一番大事なのは「聞く力」です。「聞く力」とは傾聴する力・質問する力で、特に後者のある・なしはリーダー

#### 共通講座

リアル集合研修

●日時/令和6年7月31日(水) ●場所/富山県民共生センターサンフォルテ

### 先輩女性トーク〜自分らしくキャリアを切り拓く〜

キャリアコンサルタントの養輪紀子氏(キャリアオフィスの代表)をファシリテーターに迎え、パネリストの佐藤一絵氏、篠原おりえ氏、辻本清美氏に、リーダーとしての心掛けなどについてお話しいただいたほか、塾生たちからの質問にもお答えいただきました。



立山科学グループ

執行役員・総務部人事労務グループ  
グループマネージャー 篠原おりえ氏

も、メンバーの意見をたくさん聞いたうえで、リーダーとして納得のいく結論を導き出し、その結論に責任を持つようになっています。また、完璧をイメージしつつも、それを追い求めすぎず、最適を意識しています。もし、「完璧を求めすぎて行き詰まってしまう」という悩みがあるならば、いい意味で割り切った目標を設定してみましよう。そして、メンバー全員がその達成に向かってポジティブに取り組んでいけるよう、様々な働きかけをすると思います。



株式会社北陸銀行

ダイバーシティ推進室  
室長 辻本清美氏

まずは相手の心を聞くこと、目を見る・相槌を打つなど傾聴する姿勢を示すこと、自分の行動に責任を持ち人に転嫁しないことを心掛けていきます。また、家族に頼れるときは頼るようになっています。家庭が上手くいくと仕事も上手くいくもの。みなさんも無理をしすぎず、当塾で色々な方の意見に触れ、心の断捨離をしながら、「自分らしいリーダー」を目指していきましょう。



●日時/令和6年7月31日(水) ●場所/富山県民共生センターサンフォルテ

### 第12期生となる80名が「煌めく女性リーダー」を目指します。

第12期目となる令和6年度「煌めく女性リーダー塾」が開講しました。塾生は総勢80名(アクションラーニングコース30名・スキルアップコース50名)で、12月中旬までの約4ヵ月半、リアル集合研修とオンライン研修に参加し、リーダーシップやコミュニケーションスキルについて学びます。

開講式では佐藤副知事から「富山県では今女性活躍の機運が高まっている。これをさらに盛り上げ、実践につなげるために、みなさんには楽しんで受講していただき、やがて、所属する企業・団体のロールモデルとして活躍されることを期待したい」と挨拶がありました。

続いての自己紹介・名刺交換では塾生たちがお互いに、現在の仕事や立場、リーダーとして抱える不安や戸惑い、当塾でやりたいことや学びたいことについて話し合いました。その雰囲気は終始活気にあふれ、塾生たちの自己研鑽と相互交流、企業や業種を超えたネットワーク構築の促進を大いに予感させるものとなりました。



煌めく女性リーダー塾(令和6年度)カリキュラム

日程	時間	内容	講師
7/31(水) 共通講座	13:00~13:15	開講式・オリエンテーション	
	13:15~14:45	●先輩女性トーク~自分らしくキャリアを切り拓く~	〈パネリスト〉アドバイザー 篠原おりえ氏/辻本清美氏 富山県副知事 佐藤一絵氏 〈ファシリテーター〉キャリアオフィスの代表 養輪紀子氏
	15:00~16:00	●自己紹介&名刺交換タイム	〈ファシリテーター〉キャリアオフィスの代表 養輪紀子氏
	16:15~16:30	●事務連絡	
8/30(金)	12:00~13:45	知事とのトーク(ラ・ジャンスにて)	
9/11(水)	13:30~16:30	●アクションラーニング 組織に貢献できるキャリアアクションプラン①	(株)クオリア代表取締役社長 荒金雅子氏、アソシエイト講師 根本Deacon雅子氏
9/26(木)	13:30~16:30	●アクションラーニング 組織に貢献できるキャリアアクションプラン②	(株)クオリア アソシエイト講師 根本Deacon雅子氏
10/18(金)	13:30~16:30	●アクションラーニング 組織に貢献できるキャリアアクションプラン③	(株)クオリア アソシエイト講師 根本Deacon雅子氏
11/8(金)	9:00~12:00	●成果発表会希望者リハーサル	
	13:00~17:00	●成果発表会(ワールドカフェ方式による)	(株)クオリア代表取締役社長 荒金雅子氏 アソシエイト講師 根本Deacon雅子氏
12/13(金) 共通講座	13:30~16:00	●煌めく女性リーダー塾ネットワーク強化事業 ●公開講演会 ●ネットワーク会議	全日本空輸株式会社名古屋支店 支店長 ANAあきんど株式会社執行役員 名古屋支店 支店長 江島まゆみ氏
	16:00~16:30	修了式	
日程	時間	内容	講師
7/31(水) 共通講座	13:00~13:15	開講式・オリエンテーション	
	13:15~14:45	●先輩女性トーク~自分らしくキャリアを切り拓く~	〈パネリスト〉アドバイザー 篠原おりえ氏/辻本清美氏 富山県副知事 佐藤一絵氏 〈ファシリテーター〉キャリアオフィスの代表 養輪紀子氏
	15:00~16:00	●自己紹介&名刺交換タイム	〈ファシリテーター〉キャリアオフィスの代表 養輪紀子氏
	16:15~16:30	●事務連絡	
8/29(木)	13:30~16:30	●リーダーとしてのコミュニケーション(思いを伝えるのに必要なこと)	法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授 高田朝子氏
9/27(金)	13:30~16:30	●リーダーとしてのコミュニケーション(自分を知って伝えるように話す)	
11/1(金)	13:30~16:30	●チャレンジMBA式 実践!ミニワーク	
11/8(金)	13:00~17:00	●成果発表会 公聴可能(ワールドカフェ参加) <small>希望者のみ</small>	
12/13(金) 共通講座	13:30~16:00	●煌めく女性リーダー塾ネットワーク強化事業 ●公開講演会 ●ネットワーク会議	全日本空輸株式会社名古屋支店 支店長 ANAあきんど株式会社執行役員 名古屋支店 支店長 江島まゆみ氏
	16:00~16:30	修了式	

9月11日(職場実践) オンライン型 トレーニング「アクションフォー」

煌めく女性リーダー塾(令和6年度)塾生名簿 (事業所名五十音順)

- アクションラーニングコース**
- 株式会社アイベック 北喜 加那恵、株式会社インテック 田近 昌子、STメタルズ株式会社 斉藤 ひろみ、株式会社開進堂 上坂 奈津紀、救急薬品工業株式会社 大野 裕子、協和ファーマケミカル株式会社 鷲北 優香、株式会社ケーブルテレビ富山 杉本 瑠美、医療法人財団五省会介護老人保健施設みどり苑 菊元 加奈子、コマツ富山株式会社 山崎 克子、三協立山株式会社 坂本 智江、三協立山株式会社 松田 知佐、株式会社スギノマシン 高木 智美、高岡信用金庫 日南田 祐美、一般社団法人立山子育て支援センター 古澤 良子、立山科学グループ株式会社立山科学デバイステクノロジー 横川 美浩、株式会社富冷岡崎 真由美、株式会社富冷藤井 由香里、株式会社富冷 松田 ゆかり、株式会社富山第一銀行 磐田 梨緒、国立大学法人富山大学 富山支店 武田 真弥、富山県総合警備保障株式会社 丸井 ゆき子、富山県総合警備保障株式会社 佐野 里奈、富山県庁 沖野 歌織、株式会社富山第一銀行 尾山 朋華、日医工株式会社 河合 あかり、株式会社日本オープンシステムズ 毎原 彩夏、日本赤十字社富山県支部富山県立乳児院 岡上 陽子、株式会社PCO 堀 真帆、日の出製薬産業株式会社 山口 静香、株式会社不二越富山事業所 水畑 智子、北陸コカ・コーラボトリング株式会社 黄 河舟、北陸コカ・コーラボトリング株式会社 藤田 麻紀、北陸コカ・コーラボトリング株式会社 奈良 こそえ、北陸コンピュータサービス株式会社 大浦 麻衣子、北陸電気工業株式会社 河原 伶名、北陸電気工業株式会社 立花 萌々香、北陸電気工業株式会社 近藤 莉華、北陸電力株式会社 大鋸谷 紗緒梨、丸喜産業株式会社 入江 さおり、丸喜産業株式会社 石積 茜、丸文通商株式会社 富山支店 佐伯 優、丸文通商株式会社 富山支店 中川 友紀、三井住友海上火災保険株式会社 遠藤 あゆ、YKK株式会社 川上 育代、YKK株式会社 大原 花梨
- スキルアップコース**
- 株式会社アイザック 幸山 あゆみ、株式会社アルト 澤村 陽菜、アルビス株式会社 佐々木 典亨、株式会社 高橋 仁美、石友ホーム株式会社 澤井 智子、株式会社インテック 栗原 実佳、株式会社インテック 中谷 理恵、SMK株式会社富山事業所 藤崎 聡美、STメタルズ株式会社 森 由加、株式会社ケーブルテレビ富山片境 佑生子、コマツNTC株式会社 藤野 千穂、コマツ富山株式会社 福田 穂奈美、三協立山株式会社 天池 夏希、三協立山株式会社 広田 奈保子、株式会社サンリッツ 太田 聖恵、株式会社スギノマシン 中島 淳、株式会社スギノマシン 早月 事業所 吉田 由 穂、タカノグループ 山林 さおり、立山科学グループ株式会社 タアフ 稲垣 柚香、立山科学グループ株式会社立山科学センターテクノロジー 高田 里香、立山科学グループ立山マシン株式会社 倉谷 智子、株式会社チューエツ 伊東 ひとみ、株式会社チューエツ 齊藤 真利子、東亜薬品株式会社 横野 彩、東京海上日動火災保険株式会社富山支店 武田 真弥、富山県総合警備保障株式会社 丸井 ゆき子、富山県総合警備保障株式会社 佐野 里奈、富山県庁 沖野 歌織、株式会社富山第一銀行 尾山 朋華、日医工株式会社 河合 あかり、株式会社日本オープンシステムズ 毎原 彩夏、日本赤十字社富山県支部富山県立乳児院 岡上 陽子、株式会社PCO 堀 真帆、日の出製薬産業株式会社 山口 静香、株式会社不二越富山事業所 水畑 智子、北陸コカ・コーラボトリング株式会社 黄 河舟、北陸コカ・コーラボトリング株式会社 藤田 麻紀、北陸コカ・コーラボトリング株式会社 奈良 こそえ、北陸コンピュータサービス株式会社 大浦 麻衣子、北陸電気工業株式会社 河原 伶名、北陸電気工業株式会社 立花 萌々香、北陸電気工業株式会社 近藤 莉華、北陸電力株式会社 大鋸谷 紗緒梨、丸喜産業株式会社 入江 さおり、丸喜産業株式会社 石積 茜、丸文通商株式会社 富山支店 佐伯 優、丸文通商株式会社 富山支店 中川 友紀、三井住友海上火災保険株式会社 遠藤 あゆ、YKK株式会社 川上 育代、YKK株式会社 大原 花梨



# 知事とのトーク

●日時／令和6年8月30日(金) ●場所／ラ・シャンス

富岩運河環水公園を一望するフレンチレストラン「ラ・シャンス」にて、新田知事と塾生30名との懇談会が開催されました。はじめに、新田知事から「今、塾生のみなさんにお会いして、富山県には魅力的な企業があり、人材がいると改めて確信した。このことを広く発信し持続可能な県づくりにつなげていきたい」と挨拶があり、続いて、塾生の自己紹介、そして、知事への質問が行われました。

株式会社スギノマシン 高木智美さん

**Q** 若い女性の転出超過が問題となっています。地元企業と協力してこれを抑止するにはどうすべきだとお考えですか？

**A** 一つは経営層の意識を変えることです。製造業を中心としたいいくつかの業界には、女性は活躍しにくいという固定観念が根強く残っています。これを払拭するため、セミナー・ワークショップを開催したり、コンサルタントを派遣したりして、経営者及び経営幹部の意識変革を促し、女性が活躍しやすい環境の整備につなげています。もう一つは若い世代の意識を変えることです。県出身で首都圏で就職した人たちにその理由を聞いたところ、多数を占めたのが「富山県には自分に合う仕事や会社がない」というもの



新田知事

でした。これに対する施策として、大学に進学する前の中高校生と富山県で働く女性との交流会を開催するなどしています。幸い、「どんな企業があるのかも」と知りたいなどの好反応があり、手ごたえを感じているところです。とはいえ、長い時間をかけてできあがった、この硬い厚い岩盤を突き破るのは容易ではないので、ぜひ、塾生のみなさんとも協力体制をとっていただければと思っています。

日の出屋製菓産業株式会社 小林時美さん

**Q** 夫婦とも正社員として働く家庭が多いにもかかわらず、家事・育児は女性がするものという意識は根強いままです。これを解消するにはどうすべきだとお考えですか？

**A** 男性は仕事、女性は家事・育児といった古典的な性別役割分担意識に深く関わるのがアンコンシヤス・バイアスです。そこで、富山県では、職業生活や家庭生活を送るなかで、どのようなアンコンシヤス・バイアスに気づいたか、気づいたことでどのような良い変化があったかを紹介する特設サイトを立ち上げ、その解消を目指そうとしています。加えて、若い世代には浸透しつつある男性・女性ともに仕事をし、家事・育児をする



いう意識を、より幅広い世代へ定着させていくことも大切だと考えています。これを達成するためには、労働時間ではなく労働効率を求め、成果が上げれば勤務場所を問わないなど、より一層、働き方改革を進めていく必要があります。ぜひ、しっかりと取り組んで、富山県の明るい未来を拓いていきたいと思っています。

質疑応答の後は、新田知事が塾生たちのテーブルを回り、ざっくばらんに意見交換を行いました。終わりには、アドバイザーの篠原おりえ氏から「さまざまな悩みを共有したり、新たな知見を獲得したりするため、ぜひたくさんの方々と交流してほしい」、同じくアドバイザーの辻本清美氏から「仕事に懸命に取り組むなかで得た気づきをどんどん発信し共有して、当塾での時間を充実したものにしてほしい」とエールが送られました。続いて、八島業務執行理事から「仕事と当塾の両立は大変かもしれないが、ある程度の負荷がなければ成長はない。富山県女性財団もみなさんがリーダーになれるようサポートして



いくのでぜひ頑張ってください」、そして、最後に新田知事から「当塾は女性リーダー育成研修の草分け的存在。しっかりとしたノウハウがあるので安心して学習にネットワーク構築に動いしてほしい。富山県も女性管理職登用の推進などでジェンダーギャップ指数の改善に取り組み、ロールモデルとなるよう率先行動を続けていく」とメッセージが送られ、和やかな雰囲気の中懇談会を終了しました。

●日時／令和6年9月11日(水)、9月26日(木)、10月18日(金) ●リアル集合研修・オンライン研修



# アクションラーニング ～組織に貢献できるキャリアアクションプラン～

荒金 雅子氏 (株式会社クオリア 代表取締役社長)  
根本 Deacon 雅子氏 (株式会社クオリア アソシエイト講師)

自己変革と組織貢献のためのアクションプラン策定に取り組むプログラムが約1ヶ月、3回にわたって実施されました。第1回目ではキャリアの壁や不安を明らかにし、リフレーミングの考え方を通じて、自分の弱みをポジティブに捉え直し、自分ブランドを構築する手掛かりとしました。その後、より深めたいテーマを設定し、トピックを同じくするメンバーとチームを結成。第2回目には、エニアグラムで明らかになった思考・行動パターン、これまでに発揮した能力、これから発揮したい能力から、自分ブランドの確立につながるキ

ワードやアクションを検討しました。また、事後課題として上司・同僚や家族・友人へインタビューし、第3回目はインタビューで得られた意見を参考に、自分の成長方法と周囲の巻き込み方を考え、アクションプランをより具体化させました。研修日の合間には、メンバー同士で学びや気づきを共有し、質問や相談を投稿できるオンライントレーニングツールを活用。モチベーションを維持しつつ、さらにアクションプランを改善し続け、11月に開催される企業担当者も参加する成果発表会に臨みます。



●日時／令和6年8月29日(木)、9月27日(金)、11月1日(金) ●リアル集合研修



# スキルアップ コース ●リーダーとしてのコミュニケーション (思いを伝えるのに必要なこと) <論理的スキル> ●リーダーとしてのコミュニケーション (自分を知って伝わるように話す) ●チャレンジMBA式 実践! ミニワーク

高田 朝子氏 (法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授)

このコースは係長級を目指すのに必要なリーダーシップやコミュニケーションのスキルを学ぶためのコースです。1回目は「ロジカルに話すために、自分の考え方の癖を知ること」がテーマでした。ビジネスの現場で大切な意志決定をするためのツールとして、ロジックツリーやデジジョンツリーを活用し、思考を整理することを学びました。また、自分の考え方の癖を知るために、グループで意思決定をするワークも行い、人によって様々な視点があることの気づきが得られました。2回目では、コミュニケーションスキルをテーマに、自身のコミュニケーションを俯瞰し、自分の癖を知り、他人の視

点を考えることで、言葉の後ろにある相手の意図や前提条件をしっかりと合わせることでコミュニケーションでは重要であることを学びました。そして3回目は学んだことを活かした「実践ワーク」で、グループに与えられた課題に時間内で、テーマを意志決定、何をどうするかプランを立てディスカッションして発表する内容でした。相手に何かを伝えるためには、自分に自信を持つことが重要になります。女性には「自分には能力がない・自信がない」と考える傾向があるなかで、小さな成功体験を意識し、それを積み重ねることで、自信を付けることができることを教えていただきました。

